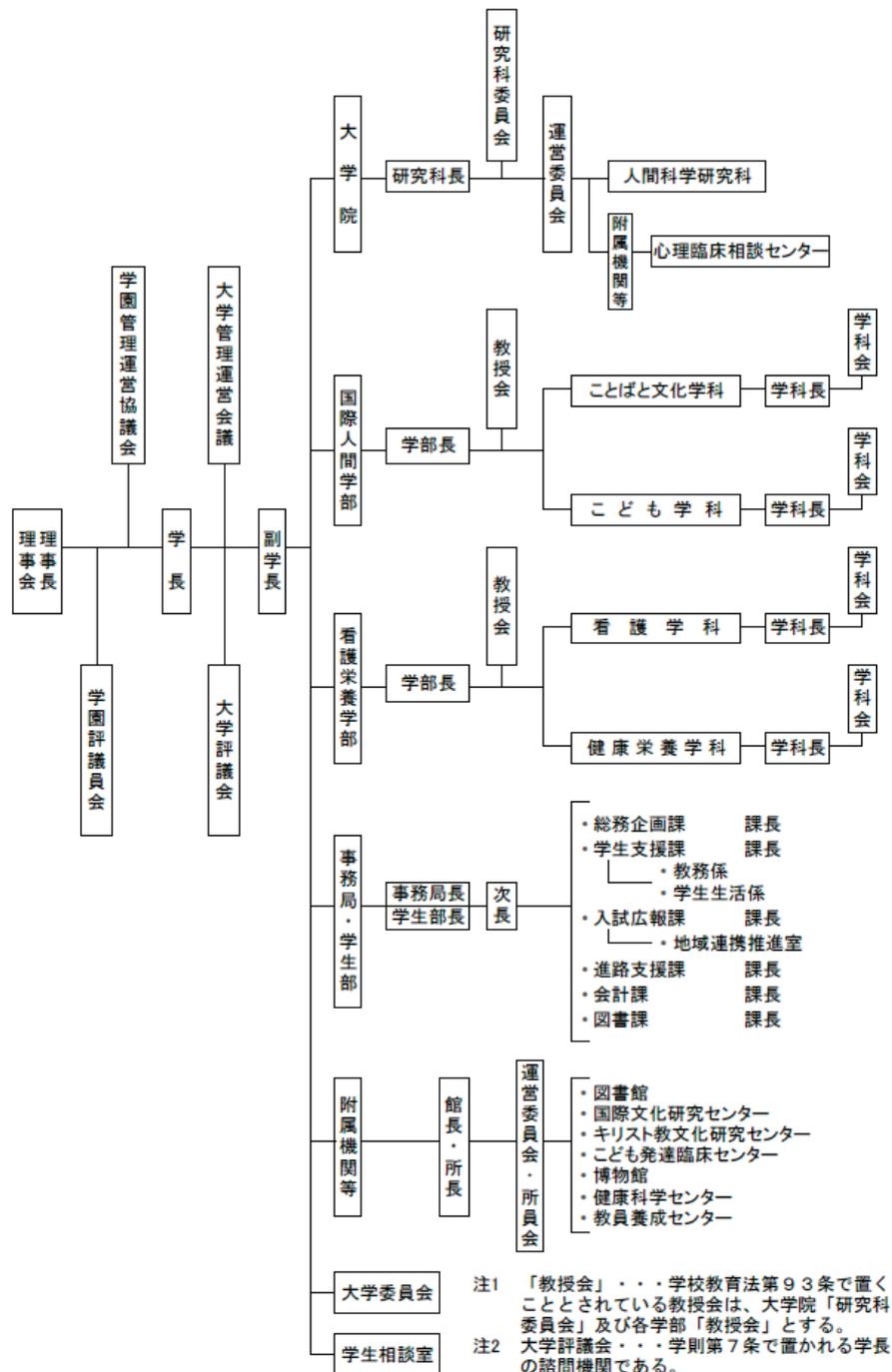


## (1) 教員組織、各教員が有する学位及び業績

組織機構図（平成 29 年 5 月 1 日現在）



### 各教員が有する学位及び業績（平成 29 年 5 月 1 日現在）

全教員（専任教員 77 名）について学科・専攻別に掲載 [【次頁参照】](#)

国際人間学部 ことばと文化学科 (五十音順)

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 こども英語教育コース
職名	講師
氏名	ウォルターズ ニコラス (Nicholas Walters)
学位・最終学歴	MA in TESOL University of Edinburg
Mail Address	bellepot@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	English reading, writing, listening and speaking
専門分野	イギリス史、英語教育
主な研究テーマ	イギリス史、英語教育
学会・社会活動	Cambridge Exams Speaking Examiner Trainer
著書・論文・業績等	<p><i>Jane Austen's Pride and Prejudice</i></p> <p>The use of Mystery Television Programmes in the EFL classroom</p> <p>Britain in the 1960s</p> <p>A Report on the Preparation of Resources for a History Course for EFL University Students</p> <p>An Investigation into Different Theories and Methodologies Related to The Teaching of English as a Foreign/Second Language</p> <p>Preparing a Course of Study for Elementary School Students Part 1: A Summary of the Relevant Literature</p> <p>Part 2: A Discussion of Issues Relating to Curriculum and Syllabus Design</p>
学生へのメッセージ	Please feel free to contact me whenever you have any questions about your studies.

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 英語コミュニケーションコース
職名	教授
氏名	岡村 和信 (OKAMURA Kazunobu)
学位・最終学歴	文学修士・ゴンザガ大学
Mail Address	kaz@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	アメリカ文学、アメリカ文学特別研究 ほか
専門分野	アメリカ文学
主な研究テーマ	現代アメリカ文学
学会・社会活動	日本アメリカ文学会 九州アメリカ文学会
著書・論文・業績等	<i>The Theme of the Father-Daughter Relationship in "Daddy"</i> <i>Two Themes on "Lady Lazarus"</i> <i>The Themes of Love and Childbirth in the Work of Sylvia Plath</i>  進路支援委員会委員長 キリスト教文化研究センター所長
学生へのメッセージ	豊かな自然に囲まれたキャンパスで一緒に語学や文学を学びましょう。 きっと知性と優しさに溢れた心を養い、世界へはばたく力を身につける ことができると思います。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科
職名	教授
氏名	尾曲 巧 (OMAGARI Takumi)
学位・最終学歴	学術博士・鹿児島大学大学院人文社会科学研究所博士後期課程
Mail Address	tak@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	アメリカ文化論 アメリカ史
専門分野	アメリカ史 (思想史、外交史)
主な研究テーマ	アメリカの外交思想史 日米外交史
学会・社会活動	上智大学英語英文学会 サウンディングズ英語英文学会 日本英文学会 他
著書・論文・業績等	「アメリカの外交思想と小笠原統治」 (博士論文) 「『明白な宿命』とペリー提督の恫喝外交」、(鹿児島純心女子大学「国際人間学部紀要」第15号 2009年 「田中直哉 —大西郷に抗った薩摩川内平佐の民権論者—」『新薩摩学知られざる近代の諸相 変革期の人々』新薩摩学シリーズ 鹿児島純心女子大学国際文化研究センター 2013
学生へのメッセージ	Live and let live. (お互いさま)

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科
職名	副学長 教授
氏名	影浦 攻 (KAGEURA Osamu)
学位・最終学歴	教育学士 (広島大学)
Mail Address	kage @ jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	児童英語, 英語科教育法
専門分野	英語教育学
主な研究テーマ	小学校英語及び外国語科の指導と評価, 我が国の外国語教育政策
学会・社会活動	九州英語教育学会, 全国英語教育学会, 小学校英語教育学会 全国小学校英語活動実践研究会 (顧問) 小学校外国語活動研修講座等の講師
著書・論文・業績等	『新しい学力観に立つ英語科の評価』 明治図書 1995 『新学力観に立つ英語科の授業改善』 明治図書 1996 『小学校教師の基本教室英語 96 選』 明治図書 2006 『新しい時代の小学校英語指導の原則』 明治図書 2007 『改訂英語科 新授業の実践モデル 20』 明治図書 2009 『中学校英語の運用力を高める授業づくり&指導のコツ』 明治図書 2012
学生へのメッセージ	夢を自分の心に懐き, それに情熱と努力を注いで生きていると, 夢はきっと実現します。夢に集中するとアンテナが高くなり, 様々な情報が集まります。これらの情報が交じり合って豊かな水脈となり, 心の中でじわりと発酵して夢の実現につながります。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 中国文化コース
職名	准教授
氏名	加藤 理恵 (KATOH Rie)
学位・最終学歴	学術博士・九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程
Mail Address	i45196a @ jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	現代日本語研究Ⅰ・Ⅱ, 対照言語学, 日本語教授法Ⅰ・Ⅱ
専門分野	日本語学・日本語教育
主な研究テーマ	意味論・日本語教育
学会・社会活動	日本語教育学会・日本語文法学会・日本認知言語学会
著書・論文・業績等	加藤理恵(2016)「地域日本語教室での文字学習支援の必要性——2014年度日本語教育実習報告書の分析から——」鹿児島純心女子大学『国際人間学部紀要』22, 19-26. 加藤理恵(2013)「日本語話者の作文を提示した上級日本語学習者の作文へのフィードバックの検討」鹿児島純心女子大学『国際人間学部紀要』19, 67-75. 加藤理恵(2011)「学部生による日本語教育実習での学びの過程」鹿児島純心女子大学『国際人間学部紀要』17, 59-76.
学生へのメッセージ	日本語は身近なものですが、日本語学・日本語教育は皆さんにとって新しい分野です。新しい分野で、これまでとは違う何かをぜひ見つけてみてください。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 こども英語教育コース
職名	教授 こども英語教育コース長
氏名	川上 典子 (KAWAKAMI Noriko)
学位・最終学歴	MA ・ Reading University
Mail Address	noriko@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	英語科教育法、異文化コミュニケーション論 児童英語、こども英語教育実習
専門分野	英語教育、応用言語学
主な研究テーマ	小学校英語活動、英語教育における小中連携、教員研修
学会・社会活動	大学英語教育学会 (JACET) 日本児童英語教育学会 (JASTEC) 小学校英語教育学会 (JES) 全国英語教育学会
著書・論文・業績等	[著書] 共著「中学校英語の運用力をつける授業づくり&指導のツボ」2012, 明治図書 共著「21世紀の英語科教育」2007, 開隆堂 [論文] 単著「英語教育のコア・カリキュラム(試案)の汎用性の検証へ向けて」鹿児島純心女子大学紀要第23号, 2017 単著「小学校英語の教科化に向けて: 研究開発校の指導体制の再考」鹿児島純心女子大学紀要第21号, 2015 単著「英語教育における小中連携: 文字指導のあり方」鹿児島純心女子大学紀要第20号, 2014
学生へのメッセージ	ことばを学ぶことで世界が広がります。大学で生きた英語を学び、視野や世界観をそして人の輪を大いに広げて欲しいです。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 国際文化コース
職名	教授・ことばと文化学科 国際文化コース長
氏名	久木田 英史 (KUKITA Eishi)
学位・最終学歴	文学修士・東京大学大学院人文社会系研究科博士課程
Mail Address	
主な担当科目	・ フランス語 ・ フランス文学・文化論・フランス語圏研究
専門分野	フランス文学・思想
主な研究テーマ	17世紀フランス科学思想史
学会・社会活動	日本フランス語フランス文学会
著書・論文・業績等	・ Girard Desargues, maître de Pascal, <i>Revue de Langue et Littérature Françaises</i> , n° 49, Société de Langue et Littérature Française de l'Université de Tokyo ・ Invariance de l'Involution, 『国際人間学部紀要第22号』鹿児島純心女子大学 ・ 『フランス文化事典』(共著)丸善出版 ・ 広報委員長
学生へのメッセージ	ARS LONGA VITA BREVIS いのち みじかし まなべよ おとめ

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 英語コミュニケーションコース
職名	准教授
氏名	ルイーズ ケネディー (Louise Kennedy)
学位・最終学歴	B.A.Degree English German Higher Diploma in Education
Mail Address	lounaka@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	Reading , Presentation , Business English
専門分野	English Literature
主な研究テーマ	Celtic Traditions
学会・社会活動	International Committee Junshin ; Library Committee Junshin
著書・論文・業績等	
学生へのメッセージ	A foreign language is like a passport to another world. Let's start a new language journey together at Junshin University !

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 国際文化コース
職名	教授 国際文化研究センター所長
氏名	古閑 章 (KOGA Akira)
学位・最終学歴	博士(文学)・熊本大学大学院文学研究科
Mail Address	koga@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	「文学Ⅰ・Ⅱ」「日本文学Ⅰ・Ⅱ」「日本文学購読Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「薩摩学」「こども文学」「国語科教育法」等
専門分野	日本近代文学
主な研究テーマ	・ 梶井基次郎・梅崎春生・芥川龍之介などの書き手論・作品論 ・ 海音寺潮五郎・古木鐵太郎を中心とする鹿児島近代文学 ・ “読みの共振運動論”という文学理論
学会・社会活動	・ 日本社会文学会(評議員) ・ 日本文学協会(国語教育部会委員)
著書・論文・業績等	・ 『梶井基次郎の文学』(単著, 2006・3, おうふう) ・ 『天障院篤姫と権領司キヲ—時代を超えた薩摩おごじょ—』(単著, 2008・6, 南方新社) ・ 『新薩摩学7 鹿児島近代文学・散文編』(編著, 2009・10, 南方新社) ・ 『「仕方がない」日本人をめぐって—近代日本の文学と思想—』(編著, 2010・9, 南方新社) ・ 『子供の世界—昭和四十年代記—』(短編集, 2011・10, ジャプラン) ・ 『新薩摩学11 古木鐵太郎作品集』(編著, 2015・9, 南方新社)
学生へのメッセージ	文学は難解で, 私たちの現実とかけ離れたイメージで捉えられていますが, 実際はそうではなく, 文学ほど日常生活に密着しているものはありません。講義を通して日本近代文学を読む楽しさを伝えていきたいと考えています。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 国際文化コース
職名	教授
氏名	仙波 玲子 (SEMBA Reiko)
学位・最終学歴	文学修士・名古屋大学文学研究科博士後期課程
Mail Address	semba@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	ドイツ語 ドイツ文学、ドイツ文化論
専門分野	ドイツ文学・文化史
主な研究テーマ	オーストリア世紀転換期文学・文化 世紀転換期ウィーンにおける日本
学会・社会活動	2006～2009 日本独文学会西日本支部幹事 2008～2009 日本独文学会西日本支部編集委員 2005～2015 薩摩川内市献血推進連絡協議会委員 2015～ 鹿児島県育英財団評議員
著書・論文・業績等	1. <i>Das Erzählverfahren im Prosawerk von Ingeborg Bachmann – Die Gewinnung von verlorener Sprache</i> — In:H.Scholz(Hrsg.): <i>Undine geht nach Japan. Zu interkulturellen Problemen der Ingeborg Bachmann- Rezeption in Japan.</i> trafo verlag 2001. S.105-121. 2. 「文学に見るオーストリア・ケルンテン州—境界と向き合う周縁性—」鹿児島純心女子大学国際文化研究センター編『新薩摩学 風土と人間』南方新社 2003 187～219頁 3. 「ペーター・アルテンベルク」—世紀末ウィーンのカフェ文士」仙波玲子編『新薩摩学 知られざる近代の諸相 変革期の人々』南方新社 2013 227～265頁
学生へのメッセージ	大学では、与えられた課題をこなすだけでなく、将来の目標を見据えて自分で研究課題を見つけてください。国際文化コースでは言語の学習とともに、言語の背景にある文化を学び、幅広い視野から世界と日本、他者と自分を見つめます。社会人に必要な読解力・思考力・表現力を身につけることを目指します。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 英語コミュニケーションコース
職名	講師
氏名	ダニエルズ アンドリュー (Andrew Daniels)
学位・最終学歴	文学修士・ロンドン大学
Mail Address	anjoda @ jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	英語による日本文化、比較文化論
専門分野	Marginal Landscapes and Pilgrimage Routes Studies on the Iconography of Landscapes (Woodland)
主な研究テーマ	Comparative Use of Woodland Landscapes (with specific reference to Yakushima.) St. Cuthbert on Holy Island. A Dual Role of the Sanctuary. Pilgrimage Routes and their Revival
学会・社会活動	English Step Test Examiner
著書・論文・業績等	2012 Parkland Tree Conservation in the 21 <sup>st</sup> Century. Westonbirt Arboretum and potential schemes in Kagoshima 2013 St. Cuthbert's Legacy of Environmental Concern on the Farne Islands 2014 The North Wales Pilgrim's Way. Spiritual Revival in a Marginal Landscape 2015 Landscapes on the Edge. A Note on the Resonance of Liminality of Place in the Work Of Philip Larkin and Paul Farley 2015 Bullfighting on Tokunoshima. A Personal Perspective.
学生へのメッセージ	Live every day as a student to the full. Inquire, research and reflect. Participate actively

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 こども英語教育コース
職名	教授
氏名	田原 良子 (TAHARA Yoshiko)
学位・最終学歴	M.A.・ 米アイオワ大学
Mail Address	azul3052@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	日本語演習 日本語教授法Ⅲ
専門分野	日本語学、日本語教育
主な研究テーマ	日本語教育実習の在り方
学会・社会活動	英語教育学会、日本語教育学会
著書・論文・業績等	「日本語プログラムにおけるシラバス作成の実証的研究-オーストラリア国交換留学生を対象とした短期日本研修における教育実習の一環として」 「習熟度別クラス編成に関する考察」(1)～(4) 「小学校英語指導者養成の取組の成果」 “A Study of Evaluation in Teaching Practice for Elementary School English Activities”
学生へのメッセージ	日本語を理解することで外国語学習がより一層おもしろくなります。日本語と外国語、そして教養を武器に世界に羽ばたく人となってください。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科
職名	教授／鹿児島純心女子学園 理事長・鹿児島純心女子大学 学長
氏名	松下 栄子 (MATSUSHITA Eiko)
学位・最終学歴	宣教学修士・ローマ教皇庁立グレゴリアナ大学宣教学部修士課程
Mail Address	
主な担当科目	純心講座
専門分野	キリスト教学
主な研究テーマ	16世紀の日本キリシタンとヨーロッパの交流
学会・社会活動	
著書・論文・業績等	「小学校の道徳—指導法と課題」2008年国際人間学部紀要第14号 「カトリック学校の全人教育」2008年キリスト教文化研究センター報告 「ザビエルがまいた種—市来のみゲルとキリシタン集団」2010年キリスト教文化研究センター報告第3号 業績等 学園評議員
学生へのメッセージ	大学での4年間、「自分づくり」のために知的好奇心をもって学び、また、サークル活動、ボランティア活動を通して人間的視野を広げて純心スピリッツを輝かせてください。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 英語コミュニケーションコース
職名	教授 図書館長
氏名	三間 晶生 (MIMA Masao)
学位・最終学歴	西洋古典学修士・カンザス大学大学院西洋古典学研究科
Mail Address	mima@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	英語音声学、英語学概論
専門分野	近世英語 (アメリカ英語・方言)
主な研究テーマ	アメリカ英語の命令の仮定法 アメリカ英語の方言
学会・社会活動	日本言語学会 近代英語協会 鹿児島英語英文学会
著書・論文・業績等	『ヤッハマンへの書簡：20世紀前半の西洋古典学者たち』 (翻訳) “On Multiple Relative Clauses and Double Restrictions” “Mandative Subjunctive in American English”
学生へのメッセージ	英語のシャワーを浴びて、reading, writing, speaking, listening のスキルを総合的にそして楽しく伸ばしてみてください。新しい世界が見えてきます。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 英語コミュニケーションコース長
職名	准教授
氏名	クリストファー・メディーナ (Christopher A. Medina)
学位・最終学歴	Doctor of Philosophy ・ Pacific Western Univ.
Mail Address	Inbox.for.christopher@gmail.com
主な担当科目	Debate, Foundation, American Studies
専門分野	English Language Education, Applied Linguistics
主な研究テーマ	Using technology to enhance English education
学会・社会活動	Kagoshima SDA Christ Church Elder JSB Band member
著書・論文・業績等	Internet Based Communities and English Education Classroom Motivation for the Next Generation
学生へのメッセージ	If are willing to work hard and focus on the task of learning English, you've come to the right place! It's not going to be easy, but if you apply yourself I can promise you that you will greatly improve not only your English skills, but you will also learn to be a thoughtful thinker. Your heart and mind will mature and develop in ways you never though possible. I am excited to take that journey with you.

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 ことばと文化学科 中国文化コース
職名	准教授 中国文化コース長
氏名	山根 真太郎 (YAMANE Shintaro)
学位・最終学歴	文学修士・広島大学大学院文学研究科博士課程
Mail Address	
主な担当科目	中国語入門 中国文化論
専門分野	古代漢語語法
主な研究テーマ	古代漢語特殊語法研究 使動用法、文末語気詞の連用、虚字「之」の用法など
学会・社会活動	日本中国語学会 日本中国学会 日本語文法学会
著書・論文・業績等	<ul style="list-style-type: none"><li>・文末語気詞の連用の順序について—先秦漢語語音から—(共著) 『下関市立大学論集』第42巻第3号, 123頁~139頁, 平成11年1月</li><li>・周而復『長城万里図 2 長江』晃洋書房, 翻訳 221頁~254頁, 平成14年3月</li><li>・薩摩藩と唐通事—『南山俗語琉球詞和解』を手がかりとして— 『新薩摩学 3』南方新社, 75頁~115頁, 平成16年12月</li><li>・周而復『長城万里図 5 黎明』三文社, 翻訳 183頁~357頁, 平成22年8月</li><li>・章炳麟—学問ある革命家— 『新薩摩学 9』南方新社, 141頁~180頁, 平成25年3月</li></ul>
学生へのメッセージ	<p>古代より近世に至るまで、日本と朝鮮半島は漢字文化圏に属し、両者は話す言葉が異なっても、漢字の素養があれば意思の疎通は比較的容易であった。</p> <p>しかし現在、日本では主として漢字と仮名を用い、朝鮮半島はハングルを基本に使うので、近世以前に比べれば意思の疎通が困難である。一方、日本も朝鮮半島も多数の漢字語が日常的に使われているのであるから、言語が思考を規定するという見方からすると、両者の思考の同質性と異質性は興味深い課題である。</p>

国際人間学部 こども学科 (五十音順)

(平成29年5月1日現在)

所 属	国際人間学部 こども学科
職 名	講師
氏 名	有村 玲香 (ARIMURA Reika)
学位・最終学歴	社会福祉学博士 鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科社会福祉学専攻
Mail Address	arirei.w@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	障害児への支援 社会的養護 保育実習
専門分野	療育 障害児福祉
主な研究テーマ	療育に携わる専門職のキャリア発達についてーCBRの視座からー
学会・社会活動	日本社会福祉学会 日本福祉心理学会 日本発達心理学会 日本LD学会 日本特殊教育学会 日本保育学会 日本保育者養成教育学会
著書・論文・業績等	(論文) 「児童発達支援事業(旧児童デイサービス)の職員の専門性向上に関する研究ーキャリア3年未満の常勤職員の質的調査による課題検討ー」(2012) 『鹿児島国際大学大学院学術論集』4, 21-29. (著書・共著) 「保育における発達援助」『保育の心理学ー保育の中で捉えるこころのすがたと育ちー』(2016) あいり出版, p228-239. 「男女共同参画社会と生活」(2016)『少子高齢社会の家族・生活・福祉』時潮社, 67-81. 「最新の情報処理技術を活用した手作り教材の作成と教育実践ー国内外の共同研究者との協働の取り組みー」(2015)大妻女子大学人間生活文化研究所人間生活文化研究, 25, 37-64. 「機能強化された地域生活支援のユーザー側から見た実態及び評価に関する面接調査」(2015)平成26年度 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究事業)p59-122.
学生へのメッセージ	ヒューマンサービスの専門職になるための大切な時期です。一緒に楽しい学生生活を送りましょう。

(平成29年5月1日現在)

所 属	国際人間学部 こども学科 ※大学院授業担当者
職 名	准教授
氏 名	井上 祐子 (INOUE Yuko)
学位・最終学歴	博士(社会福祉学)・同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了
Mail Address	y.inoue@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	保育実習、保育内容(人間関係)の理論と方法、保育相談支援、相談援助、幼児理解の理論と方法、社会福祉概論、福祉行政総論
専門分野	ソーシャルワーク論(社会福祉援助技術)、社会福祉教育・実習、高齢者福祉
主な研究テーマ	対人福祉サービスの構造化に関する研究 福祉・介護人材の職務体制の継続的サポートに関する研究
学会・社会活動	日本社会福祉学会、日本社会福祉士会、日本学校ソーシャルワーク学会、同志社大学社会福祉学会、日本社会福祉教育学会
著書・論文・業績等	㊦ 「高齢者福祉施設生活相談員が必要と認知する対人福祉サービスの構造化」、井上祐子、『評論・社会科学』93、2010、pp.67-80. ㊦ 「Deci 理論を基礎とする高齢者福祉施設の生活相談員の職務満足度に関する検討」、井上祐子・黒木保博、『社会福祉学』51(4)、2011、pp.91-103. ㊦ 「保育者効力感に関する研究動向と課題」、井上祐子、『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』20、2014、pp.47-62. ㊦ 「高齢者を在宅介護する子育て世代への介護者支援に関する研究動向と課題」、井上祐子、『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』22、2016、pp.1-18. ㊦ 「生活困窮者自立支援法における就労支援の現状と課題」、井上祐子、『鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要』8、2016、pp.45-52.
学生へのメッセージ	学生生活では、戸惑うことも悩むことも、たくさんあると思います。皆さんが懸命に考えて出す答えが、人と同じでなくても大丈夫です。自分と他者、お互いの個別性を尊重した関わりについて、一緒に学び、考えていけたらと思います。

(平成29年5月1日現在)

所 属	国際人間学部 こども学科
職 名	准教授
氏 名	神丸 一祐 (KAMIMARU Kazuhiro)
学位・最終学歴	体育学士・筑波大学体育専門学群
Mail Address	kazuhiro@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	健康スポーツ 健康科学
専門分野	体育学 (生理学・バスケットボール)
主な研究テーマ	・バスケットボール方法論 ・小学校における体育授業の指導法
学会・社会活動	学会： 日本体育学会 九州体育・スポーツ学会 社会活動： 鹿児島県バスケットボール協会 審判委員長
著書・論文・業績等	『バスケットボール競技審判の運動強度と運動効果』 『体づくり運動としてのコーディネーショントレーニング』 『小学校体育における児童の学習支援方法としての教材に関する検討』
学生へのメッセージ	運動が苦手な方も、日常に運動を取り入れる生活を心がけ、生涯を通じた「健康」について、共に学びましょう。 遠慮なく研究室においで下さい。

(平成29年5月1日現在)

所 属	国際人間学部 こども学科 ※大学院授業担当者
職 名	教授
氏 名	口岩 俊子 (KUCHIIWA Toshiko)
学位・最終学歴	医学博士・弘前大学大学院医学研究科博士課程
Mail Address	toshiko@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	神経学特論、人体探検科学、小児保健
専門分野	脳科学、神経解剖学
主な研究テーマ	実験動物における鬱症状の定量的評価の試み ダイオキシン胎盤・母乳暴露による脳への影響について
学会・社会活動	日本神経科学会、日本解剖学会、日本薬理学会
著書・論文・業績等	<ol style="list-style-type: none"><li>1. Evaluation of aggressiveness of female mice using a semi-automated apparatus for measurement of aggressive biting behavior toward an inanimate object. Toshiko Kuchiiwa &amp; Satoshi Kuchiiwa Neurosci Meth., 257(2016)179-184.</li><li>2. A novel semi-automated apparatus for measurement of aggressive biting behavior in mice. Satoshi Kuchiiwa &amp; Toshiko Kuchiiwa Neurosci Meth., 228(2014)27-34.</li><li>3. 頭頸部の自律神経 口岩 聡、口岩 俊子 JOHNS,30(2014)1403-1407</li><li>4. 光を見るとくしゃみが出るのはなぜですか？ 口岩 聡、口岩 俊子 Clinical Neurosci., 33(2015)479</li><li>5. 特許第4858996号 【発明の名称】 刺激応答計測装置および刺激応答計測方法 【日本国登録日】 2011年11月11日</li></ol>
学生へのメッセージ	いつも周りに興味を持ち、色々なことに挑戦する心を無くさないでください。チャンスは自分で掴み取るものです。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科
職名	准教授
氏名	栗原 真孝 (KURIHARA Masataka)
学位・最終学歴	修士(教育学) 早稲田大学大学院博士後期課程(単位取得満期退学)
Mail Address	—
主な担当科目	「教育原理」「現代社会とこどもの権利」 「こども学フィールドワークⅡ(純心こども講座)」
専門分野	教育行政学、外国籍児童生徒の教育
主な研究テーマ	外国籍児童生徒を対象とする教育政策に関する研究 鹿児島県の教育政策の動向に関する研究 アメリカにおける移民の教育に関する研究
学会・社会活動	日本教育行政学会、関東教育学会、異文化間教育学会、 日本比較教育学会
著書・論文・ 業績等	<ul style="list-style-type: none"><li>・「いのち・栄養・学校教育の諸問題—世界のこどもたちの「いま」について考える—」『新薩摩学』第12号、2016年、195-205頁。</li><li>・「ニューヨーク市における英語能力が十分ではない児童生徒の実態—日本の外国籍児童生徒の教育への示唆—」『こども学研究』(鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要)、第8号、2016年、55-62頁。</li><li>・「市町村長による県立高校教育政策への関与の実態—鹿児島県を事例として—」鹿児島純心女子大学国際人間学部編『国際人間学部紀要』第22号、2016年、67-83頁。</li><li>・「日本における外国籍児童生徒を対象とする地方教育政策の実施状況」『比較教育学研究』第50号、2015年、3-23頁。</li><li>・「異文化のなかの子ども・青年と教育行政 異文化にどう向き合うか」小松茂久編『教育行政学—教育ガバナンスの未来図』昭和堂、2013年、155-171頁。</li><li>・『外国籍児童生徒を対象とする地方教育政策に関する調査(集計報告書)』(2011年度早稲田大学特定課題研究助成費)、2012年。</li><li>・「外国人の子どもの不就学問題に関する地方教育行政の可能性と限界」『関東教育学会紀要』第38号、2011年、27-38頁。</li></ul>
学生への メッセージ	大学卒業後の進路実現に向けて、ともに歩んでいきましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科 ※大学院授業担当者
職名	教授
氏名	小島 摩文 (KOJIMA Mabumi)
学位・最終学歴	文学修士・総合研究大学院大学博士後期課程
Mail Address	kojima@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	学部： 民俗学、こども文化概論、情報メディアの活用 ほか 大学院： 文化人類学特論
専門分野	民俗学、民具学、博物館学
主な研究テーマ	民具研究、物質文化研究、 馬と人の関わり
学会・社会活動	日本民俗学会評議員、日本民具学会会員、日本文化人類学会会員 鹿児島民俗学会会員、鹿児島民具学会会員、比較民俗学会会員 日本生活科・総合的学習教育学会
著書・論文・ 業績等	「馬」『図録 メコンの世界-歴史と生態-』秋道智彌編 弘文堂 2007 「塩と茶の交易史」(共著)『地域の生態史[モンスーンアジアの生態史第2 巻]』ダニエルス・クリスチャン編 弘文堂 2008 弘文堂 (2008/5/16) 「在宅と外在化」『死の儀法-在宅死に見る葬の礼節・死生観』近藤功行編ミ ネルバ書房 2008 04 「民具学としての物質文化研究」『国際常民文化研究叢書3』神奈川大学 国 際常民文化研究機構 2013 「アチックフィルムにみる民具」『国際常民文化研究叢書10』神奈川大学 国 際常民文化研究機構 2015 「馬具の種類と名称について-データベース化のための標準名を考える-」 『神奈川大学 国際常民文化研究機構 年報 第5号』2015
学生への メッセージ	講義だけでなく、さまざまな活動を通して楽しい学生生活に、いっしょにしてい きましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科
職名	教授 教員養成センター所長
氏名	獅子目 博文 (SHISHIME Hirofumi)
学位・最終学歴	国文学士・高知大学文理学部文学科 (国文学専攻)
Mail Address	shishime@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	生徒指導の研究、教職論、教育制度論
専門分野	教職課程
主な研究テーマ	かごしまの教育 教員養成プログラムの研究
学会・社会活動	九州教育経営学会、九州教育学会、日本生徒指導学会
著書・論文・業績等	鹿児島県立高等学校教員、鹿児島県立高等学校校長、鹿児島県総合教育センター所長、鹿児島県教育庁高校振興課課長、鹿児島県教育庁教育次長、鹿児島県生活指導研究協議会会長 現在、鹿児島県社会教育委員 共著『教育実践に役立つ生徒指導・進路指導』（あいり出版、2013） 「社会性を育むために一言語表現力の育成」（『鹿児島純心女子大学キリスト教文化研究センター報告』第4号 2012年3月） 「地域連携教育プロジェクトによる実践的指導力育成の取組み」（共同執筆『教師教育研究』第27号 2014年3月） 「教員養成における実践的指導力育成の一方策～小学生の体験活動を企画立案する取組～」(『鹿児島純心女子大学国際人間学部紀要』第23号 2017年3月)
学生へのメッセージ	教員養成センターは、実践的指導力を有する教員養成のため、市教育委員会、管内の幼稚園・小学校・中学校と「地域連携教育プロジェクト」を構築して、「学校インターンシップ」や「教職フィールドワーク」を実施しています。理論と実践の往還を通して、大学における学びの質をさらに高めていきましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科
職名	教授
氏名	島 立久 (SHIMA Tatsuhisa)
学位・最終学歴	教育学士・鹿児島大学教育学部
Mail Address	tshima@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	教育実習(小学校)、算数科教育法、教職論(幼児・初等教育)
専門分野	教職課程(小学校)
主な研究テーマ	小学校算数科授業づくり
学会・社会活動	日本数学教育学会、東郷中学校学校運営協議会
著書・論文・業績等	鹿児島県公立小学校長、鹿児島県数学教育研究会副会長・小学校部会長を経て現在 <ul style="list-style-type: none"><li>・「自立・創造・責任による信頼される学校づくりのあり方」</li><li>・「子どもの考えのまとめ方・発展のさせ方のアイデア」</li><li>・あまみ授業づくり講座(2012.7)</li><li>・喜界町やる気塾算数教室(2013.1)</li><li>・「こども大学」講座小学校授業(2015.2, 2016.3)</li><li>・『深い学び』の実現に向けた授業づくり」算数研究第56号(2017.3)</li></ul>
学生へのメッセージ	子どもたちの知的好奇心を喚起するような授業づくりを一緒に考えていきましょう。

(平成29年5月1日現在)

所 属	国際人間学部こども学科 ※大学院授業担当者
職 名	講師
氏 名	成願 めぐみ (JOGAN Megumi)
学位・最終学歴	修士(心理臨床学)・鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科 修士(言語・文化)・清泉女子大学大学院人文科学研究科
Mail Address	mjogan@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	臨床心理基礎実習, 精神分析療法特論(大学院)
専門分野	心理臨床学
主な研究テーマ	パーソナリティ障害、ロールシャッハ・テスト、箱庭療法
学会・社会活動	日本心理臨床学会 日本ロールシャッハ学会
著書・論文・業績等	論文： 「トラウマを抱えた少女の「再生」の歩み—イメージ(心象)による回復の過程—」他。
学生へのメッセージ	過去を振り返って、学び、未来を考え、向上することは、共にとても大切なことです。更に、今、ここにある自分の存在に気づき、この現実を生きること、この視点があつてこそ、過去の学びと未来への準備が本当の意味を持つのだと思います。現実を生きるとは、時には厳しさが伴いますが、生きるよろこびを味わうことができるのも現実だと思いません。ぜひ人生の本当のよろこびを味わってください。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科
職名	講師
氏名	末吉 卓也 (SUEYOSI Takuya)
学位・最終学歴	哲学修士、上智大学大学院哲学研究科前期博士課程
Mail Address	johnts@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	キリスト教概論、聖書講読
専門分野	哲学
主な研究テーマ	キリスト教的人間理解
学会・社会活動	上智大学哲学会
著書・論文・業績等	
学生へのメッセージ	よき師、よき友、よき書物との出会いを通して、心の豊かな人になってください。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科 ※大学院授業担当者
職名	講師
氏名	仲 沙織 ( NAKA Saori )
学位・最終学歴	博士 (臨床心理学) 福岡大学大学院人文科学研究科教育・臨床心理専攻博士課程後期
Mail Address	naka@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	学部:基礎心理学、幼児理解の理論と方法 など 大学院:臨床心理学研究法特論、臨床心理実習 など
専門分野	臨床心理学
主な研究テーマ	精神科アウトリーチにおける臨床心理学的地域援助に関する研究 多職種協働に関する研究
学会・社会活動	<学会> 日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本保健福祉学会、日本病院・地域精神医学会 など 日本心理臨床学会広報誌「心理臨床の広場」編集委員
著書・論文・業績等	<論文> 米国・英国における地域精神医療のあゆみー臨床心理士の役割に注目してー ー(2014)福岡大学臨床心理学研究、第13巻、p3-10. 我が国における地域精神医療のあゆみー臨床心理士の役割に注目してー (2014)福岡大学臨床心理学研究、第13巻、p11-18. 「包括型地域生活支援プログラム」従事者が心理職に求めることーあるチームの半構造化面接からー(2015)福岡大学大学院論集、第47巻第1号、p33-51. 「包括型地域支援プログラム」における臨床心理士の役割と今後の課題ー半構造化面接の分析からー(2015)福岡大学臨床心理学研究、第14巻、p17-23. 「包括型地域生活支援プログラム」従事者が心理職に求めることー質問紙調査を用いてー(2016)病院・地域精神医学、第58巻第3号、p277-285. アウトリーチサービス利用者のニーズから見た心理職の可能性の検討 (2016)日本保健福祉学会誌、第23巻第1号、p65-72. など
学生へのメッセージ	見つめたり触ったりはできないけれど、確かに私たちの中に“こころ”は存在していますね。人と人との関わりのなかで、様々に揺れるこころを理解し、どのように援助していくことができるのか、共に学び、高め合っていきましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科 ※大学院授業担当者
職名	講師
氏名	中村 誠文 (NAKAMURA Masafumi)
学位・最終学歴	心理臨床学修士・鹿児島純心女子大学大学院
Mail Address	m.naka@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	人間関係論、家族心理学、臨床心理基礎実習Ⅰ など
専門分野	臨床心理学 家族療法・短期療法
主な研究テーマ	不登校支援における心理臨床家の役割に関する研究 シングル・セッションに関する研究 心理臨床における「連携」と「協働」に関する研究
学会・社会活動	日本心理臨床学会 家族心理学会 鹿児島精神神経学会 九州心理学会
著書・論文・業績等	・「連携」と「協働」の概念に関する研究の概観—概念整理と心理臨床領域における今後の課題— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第7号 (共著) ・心理臨床学的研究への現象学的アプローチの貢献への可能性—個別性と普遍性に着目して— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号 (共著) ・教育現場における心理臨床家の役割—教員への不登校支援に視点をあてたアンケート調査から— 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号 ・拘束と記述から得られるもの—ベイトソンの認識論から— International Journal of Brief Therapy and Family Science (I.J.B.F.) Vol. 5, No. 1 (共著) ・スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーによる連携・協働に関する一考察 鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要第8号 など
学生へのメッセージ	様々な個性をもつこどもへの理解、みため、支援について「想像力と創造力」を働かせながら、一緒に考えていきましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科
職名	准教授
氏名	広瀬 健一郎 (HIROSE Ken' ichiro)
学位・最終学歴	教育学修士・北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程
Office Hour	火2・昼休、水昼休、木5
Mail Address	hirose@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	子育ての原理、保育内容総論、保育内容(環境)の理論と方法、教育の方法・技術、国際こども学、教育実習(幼稚園)
専門分野	教育学(教育史・比較教育・教育実践論)
主な研究テーマ	・現代カナダ先住民族教育史 ・保育者養成実践研究
学会・社会活動	・カナダ教育学会理事 ・日本教育学会会員 ・日本カナダ学会会員
著書・論文・業績等	・「カナダの先住民族中等後教育政策における先住民族大学」(こども学研究、第8号、鹿児島純心女子大学こども発達臨床研究センター、2016年)。 ・「先住民族研究から見える奄美研究の可能性―「新薩摩学」と「奄美学」の知的融合に向けて―」(仙波玲子・古閑章編『新薩摩学10もっと知りたい鹿児島』、南方新社、2014年)。 ・「戦後カナダの先住民族に対する経済開発政策と教育―1946-1969」(岸上伸啓編『北アメリカ先住民の社会経済開発』、明石書店、2008年)。 ・『東京イチャルパへの道―明治初期のアイヌ教育をめぐって』(長谷川修、狩野雄一との共著、現代企画、2008年)。 ・岡本拓子編『つくってさわって感じて楽しい 実習に役立つ表現遊び②』(共著、北大路書房、2007年)。
学生へのメッセージ	常識を疑い、真実を見極める作法を身につけて欲しいと願っています。「教えられる」ことを求めるのではなく、自ら学びとる姿勢を身につけ、実践して欲しいと願っています。「教えられる」だけでは見えなかった世界に、知的な興奮を覚えることでしょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科 ※大学院授業担当者
職名	准教授
氏名	福田 みのり ( FUKUDA Minori )
学位・最終学歴	教育学修士・京都大学大学院教育学研究科教育科学専攻
Mail Address	m.fukuda@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	発達と教育・こころの発達 I・学校臨床心理学特論 等
専門分野	子ども臨床・教育心理学・発達心理学
主な研究テーマ	子どもが相談しやすい相談援助のあり方
学会・社会活動	日本教育心理学会・日本発達心理学会・日本心理臨床学会
著書・論文・業績等	・「遊戯療法」「心理劇」(2010) 加藤伸司・山口利勝(編著) 社会福祉士養成テキストブック 21 『心理学理論と心理的支援』 ミネルヴァ書房 ・「子どもの相談・援助システムの固有性に関する研究の展望」(2008) 山口福祉文化大学研究紀要 第1巻第1号 pp.83-90 ・「子どもが安心して相談できるしくみ ―解決主体としての立ち直り支援」(2013) 子どもの権利研究 第22号 pp.19-23 ・特集 子どもの権利条約 20年の成果と課題「スクールカウンセリング・心理領域」(2014) 季刊教育法 第183号 pp.71-75
学生へのメッセージ	私たちが生きていく上で自分(という人)も含めた人との関わりは避けて通れません。大学生活の中で、学びの基礎となる知識や技術を身に付けることはもちろんのこと、自己を見つめ、仲間とかかわり、自分自身が心豊かにこれからの生活を送ることができるような礎を築いてほしいと思います。 人間に興味がある皆さん、一緒に学びましょう!

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科
職名	こども学科長 教授
氏名	藤尾 清信 (FUJIO Kiyonobu)
学位・最終学歴	教育学士・鹿児島大学教育学部 (音楽専攻)
Mail Address	k.fujio@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	音楽科教育法 音楽概論
専門分野	音楽
主な研究テーマ	子守歌の現状と未来
学会・社会活動	日本音楽療法学会 鹿児島県音楽教育連盟副会長
著書・論文・業績等	2008.6 若宮保育園園歌「ひとりぼっちはもういない」作曲 2009.1 和泊町ニューイヤークンサート出演 (ピアノ独奏) 2009.5 垂水中央中学校校歌「永遠のわれらが母校」作曲 2009.10～ 天辰の丘ファミリーコンサート出演 (ピアノ独奏等) 2012.2 喜界中学校校歌作曲 2013.2 獅子島小学校校歌作曲 2013.8 鹿児島大学混声合唱団ポリフォニーコール創立60周年記念合唱団練習指揮 (ブラームス ドイツ・レクイエム) 2013.11 大口中央中学校校歌「十五の旅路」作曲 2015.3 南天園園歌作曲 2016.2 有馬万里代米寿記念演奏会練習指揮 2016.3 「多様なこども観の育成」こども発達臨床センター紀要 2017.3 「校歌考」こども発達臨床センター紀要
学生へのメッセージ	音楽は、子どもたちの健やかな成長のために重要な意味をもっています。将来、保育士や幼稚園・小学校教諭を目指す人にとって、音楽の指導力を身につけることは不可欠です。その中でも、ピアノの演奏能力は極めて重要です。上達の秘訣は、毎日コツコツと努力を積み重ねることしかありません。学生の皆さんと一緒に、素晴らしい音楽を共有できると嬉しいです。

(平成29年5月1日現在)

所 属	国際人間学部 こども学科 ※大学院授業担当者
職 名	国際人間学部学部長 教授
氏 名	藤田 千鶴子 (FUJITA Chizuko)
学位・最終学歴	学術博士 (カナダ・アルバータ大学大学院) 東京大学大学院教育学研究科学校教育学専攻
Mail Address	fujita @ jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	知的障害のあるこどものカウンセリング こども学演習 IX (知的障害児文献講読)
専門分野	臨床教育学 研究方法論
主な研究テーマ	質的研究方法論、「物語る」ことの認識論的系譜 心理臨床学における現象学的アプローチの可能性
学会・社会活動	日本教育心理学会 日本心理臨床学会 日本保育学会 スクール・カウンセラー
著書・論文・業績等	「保育者の気づき」 「保育心理学 II」第2部第5章 東京書籍 「『みる』」ことから始めるこども学—こども支援の基礎的体験学習」全国保育士養成協議会第45回研究大会論文集 「学校臨床再考—量的研究・質的研究・臨床現場、それぞれの知見から—」日本心理臨床学会第29回秋季大会自主シンポジウム 「『連携』と『協同』の概念に関する研究の概観—概念整理と心理臨床領域における今後の課題」鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第7号 「心理臨床学的研究への現象学的アプローチの貢献の可能性—個別性と普遍性に着目して—」鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要第10号
学生へのメッセージ	さまざまな個性を持つこどもたちを理解し、保育、教育や臨床の場面での支援の方法に関心のある皆さん、一緒に考えましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科
職名	教授
氏名	洞田 勝博 (HORATA Katsuhiro)
学位・最終学歴	工学修士・広島大学大学院工業化学専攻科
Mail Address	hozo@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	情報科学概論 など
専門分野	情報処理教育
主な研究テーマ	情報処理教育と専門教育との連携について 看護研究における動画の利用法
学会・社会活動	情報処理学会
著書・論文・業績等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 授業研究 『算数科教育法』の取り組みと課題 ～授業終了後のアンケート結果からの考察～</li><li>・ Mahara とマルチメディアサーバ連携の試み</li><li>・ 動画を用いたピアノレッスンの実践</li><li>・ グラフ的数列の帰納的構成とその数え上げ</li><li>・ 等差素数列について</li></ul> など
学生へのメッセージ	コンピュータを扱うのは少し苦手だという方でも、できるだけゆっくり授業を進めていくことを心がけながら行っております。 分からない点、不明な点がありましたら授業以外にでも質問を受け付けますので、ぜひ研究室に来てください。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科 ※大学院授業担当者
職名	教授／大学院心理臨床相談センター長
氏名	餅原 尚子 (MOCHIHARA Takako)
学位・最終学歴	文学修士・ 鹿児島大学大学院人文科学研究科
Mail Address	mochihar@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	臨床心理学 (学部)、臨床心理学特論 (大学院) など
専門分野	臨床心理学
主な研究テーマ	トラウマ (PTSD、CIS)、発達障害、情緒障害、精神障害、人格障害等の心理査定、心理面接に関する研究
学会・社会活動	<学会> 日本心理臨床学会・日本ロールシャッハ学会 日本人間性心理学会・日本児童青年精神医学会 など <社会的活動> 鹿児島地方労働審議会委員／鹿児島労働局発達障害者専門指導監／ 鹿児島県社会福祉審議会委員／鹿児島県障害児就学指導委員会委員／ かごしま犯罪被害者支援センター理事など
著書・論文・業績等	<学術論文> ・性的虐待 (レイプ、セクハラ・ストーカー) により、PTSD症状を呈した2症例のロールシャッハ反応 (査読付 2001) ロールシャッハ研究第5巻 (日本ロールシャッハ学会) p53~66 ・性犯罪被害によるPTSDの事例へのカウンセリング～信頼の絆が結ばれるまで～ (査読付 2003) カウンセリング研究、第36巻、(日本カウンセリング学会) p437~445 ・救援者のストレス (PTSD、CIS) の予防とケアに関する臨床心理学的研究 (2005) 平成15~17年度科学研究費補助金 (若手研究B) 報告書 ・ある発達障害児への児童中心遊戯療法の過程～発達的变化に視点をあてて～ (2008) 鹿児島純心女子大学心理臨床相談センター紀要第3号 P19~26 ・ロールシャッハ・テスト後に急速な回復を見せたPTSDの2事例 (査読付 2015) ロールシャッハ研究第19巻 (日本ロールシャッハ学会) p1~10 他76編 <著書 (共著) > ・新臨床心理学 (2004) 橋口英俊・滝口俊子編著、八千代出版 など <外部資金> ・平成15年~17年 (科研費)、平成17年~19年 (学術研究振興資金)、平成20年~22年 (科研費)、平成23~25年 (科研費)、平成26年~28年 (科研費)、平成29年~31年 (科研費) KAKEN: <a href="http://kaken.nii.ac.jp/d/r/70352474.en.html">http://kaken.nii.ac.jp/d/r/70352474.en.html</a>
学生へのメッセージ	病み、悩み、障害のある方々への心理面接 (カウンセリング) を通して、その方々の心を、多くの方々に伝えたいと思っています。人としての「自由と責任」を深く感じつつ、みなさんと一緒に成長していきましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	国際人間学部 こども学科
職名	教授
氏名	山口 明美 (YAMAGUCHI Akemi)
学位・最終学歴	家政学修士・大妻女子大学大学院家政学研究科
Mail Address	mregina@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	家庭科教育法 家庭科教職教科
専門分野	被服整理学 被服材料学
主な研究テーマ	中学・高等学校における家庭科教育のあり方 家庭科指導力を育成する模擬授業の効果に関する検討
学会・社会活動	日本家庭科教育学会 日本家政学会 日本繊維製品消費科学会 日本福祉・ボランティア学習学会 生活やものづくりの学びネットワーク 開発教育協会
著書・論文・業績等	小学校家庭科における衣生活分野の取り組みについて 「生きる力」「人間力」を育むために — 幼児の生活時間、乳幼児の関わり方から見えてくるもの— 家庭科の授業を担当できる小学校教員養成のあり方 九州地区の小学校教諭教職課程大学等の家庭科関連科目シラバス分析 家庭科指導力を育成する模擬授業の効果に関する検討 「小学校家庭科の授業をつくる—理論・実践と基礎知識」共著
学生へのメッセージ	教育職員（家庭科教諭・小学校教諭）を希望する皆さんへ 少子高齢社会、家庭の機能が果たしにくい社会状況を迎えた今、大人自身の教育やポリシーが求められているように思われます。そのような日本社会の中で、学校教育に求められているものは何か、私はなぜ家庭科教諭、小学校教諭になりたいのかを常に考えながら、自分のモチベーションを高めてください。

看護栄養学部 看護学科 (五十音順)

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授
氏名	牛ノ濱 幸代 (USHINOHAMA Sachiyo)
学位・最終学歴	教養学士・放送大学教養学部
Mail Address	fun @ jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	助産学概論、助産診断技術学演習Ⅱ、助産管理Ⅰ・Ⅱ、地域母子保健 助産診断技術学実践、母性看護学、母性看護実践
専門分野	助産学 母性看護学
主な研究テーマ	母乳に関する研究 乳児突然死症候群に関する研究
学会・社会活動	1999,6.～8.NGO「アフリカ友の会」の派遣により中央アフリカ共和国、パン ギ診療所にてエイズ医療従事
著書・論文・ 業績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床助産師必携～生命と文化をふまえた支援～ 共著 2006.3 医学書院</li> <li>・アルコール依存症に対する看護学生のもつイメージの構造 共著 2007. 鹿児島純心大学看護栄養学部紀要</li> <li>・当事者の「語り」を導入したアルコール依存症の講義の評価 共著 2006. アディクション看護</li> <li>・A 私立看護系大学生の社会的スキルの構造 共著 2010. 鹿児島純心大学看護栄養学部紀要</li> <li>・講義「女性と日本文化」の効果を測定する項目の検討 共著 2010. 鹿児島純心大学看護栄養学部紀要</li> </ul>
学生への メッセージ	女性の体は、生命の存続の為にとてもうまくできています。時にその巧妙なし くみが機能しにくい時もあります。命の不思議さ神秘さについて、語り合っ ていきましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教
氏名	大井 美樹 (OI Miki)
学位・最終学歴	修士 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科精神保健学専攻
Mail Address	m.oi@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	精神健康論 精神看護実践 精神看護学 看護リフレクション
専門分野	精神看護学
主な研究テーマ	看護実践能力 精神看護 実習指導 看護ケア
学会・社会活動	日本看護研究学会 日本精神保健看護学会 日本精神科看護協会
著書・論文・業績等	<p>〈発表〉 精神看護実習における学生との関わりおよびストレスが看護実践能力におよぼす影響, 日本看護研究学会, 2011</p> <p>〈論文〉</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 看護学実習における指導プロセスの関連要素－1996年から2009年の国内先行文献の分析－, 共著, 保健科学研究誌, No9, p15-28, 2012</li><li>2. 再入院予防を目的とした精神障害者への看護ケアの実態, 共著, 日本精神保健看護学会誌, 23巻1号, 2014</li></ol>
学生へのメッセージ	<p>授業で得られた知識や技術を持って、ケア実践実習につなげられるよう、私の臨床経験を活かし工夫した授業を考えています。</p> <p>一緒に精神看護について語り合しましょう。</p>

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	准教授
氏名	小楠 範子 (OGUSU Noriko)
学位・最終学歴	看護学博士 日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士後期課程
Mail Address	
主な担当科目	建学の精神と看護、老年看護学概論 ほか
専門分野	老年看護学
主な研究テーマ	高齢者の終末ケア
学会・社会活動	2008, 9～ 薩摩川内市社会福祉協議会評議員 2009, 4～ 日本養護教諭養成大学協議会評議員 2009, 4～ 日本老年社会科学会「老年社会科学」査読委員 2012, 10～ 薩摩川内市地域密着型サービス運営委員
著書・論文・業績等	小楠範子(2010). 拘束の弊害の一側面としてのスピリチュアル ペイン. ホスピスケアと在宅ケア, 18(3), 318-324 小楠範子(2008). 退院後の生活の場の決定に参加できない高齢者の体験. 老年社会科学, 30(3), 404-414 小楠範子(2008). 高齢者の終末期の意思把握としての回想の可能性. 日本 看護科学会誌, 28(2), 46-54
学生へのメッセージ	四季折々の自然に囲まれているのもこの大学の一つの魅力です。目的に向かって直進することはもちろん大切につつ、時には、自然にゆっくりふれ、深呼吸しながら歩いてみてください。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手
氏名	奥平 綾美 (OKUHIRA Ayami)
学位・最終学歴	学士(看護学)・鹿児島純心女子大学 看護栄養学部看護学科
Mail Address	Ar1100@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	実践看護学演習・公衆衛生
専門分野	成人看護
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
著書・論文・ 業績等	
学生への メッセージ	看護の楽しさを一緒に学んでいきましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授
氏名	柿元 美津江 (Kakimoto Mitsue)
学位・最終学歴	経済学修士・ 鹿児島大学大学院
Mail Address	ayrairai@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	保健医療福祉行政論 公衆衛生看護管理論 ほか
専門分野	公衆衛生看護学
主な研究テーマ	地域包括ケアの充実と地域医療・介護の連携
学会・社会活動	日本公衆衛生看護学会会員 日本公衆衛生学会会員 日本在宅ケア学会会員 地域活性化プラットフォームワーキングチーム(内閣官房) 鹿児島県介護保険審査会委員 薩摩川内市川内駅東口市有地活用事業審査会委員
著書・論文・業績等	1 保健師に求められる実勢能力の獲得経過を明らかにする 鹿児島純心女子大学紀要 Vol. 20 11-19 2 保健師に求められる実践能力到達度の講義等後と実習終了後での比較検討 第5回公衆衛生看護学術集会 3 介護支援専門員のネットワーク構築状況の調査分析 鹿児島純心女子大学紀要 Vol. 19 1-6 4 独居高齢者の要介護認定率と家族の物理的位置が要介護認定に及ぼす影響 鹿児島純心女子大学紀要 Vol. 18 78-85 5 介護支援専門員のネットワーク構築に影響する事業所内連携 第3回公衆衛生看護学術集会 6 要介護認定に及ぼす影響(一報) —独居高齢者の家族との位置関係から— 第19回日本在宅ケア学会学術集会
学生へのメッセージ	若い力を発揮し大いに看護学を学んでいただきたい。一緒に公衆衛生看護学を探求し、よりよい看護が実践できる保健師を目指しましょう。学生の時でなければ経験できない様々なことにチャレンジし、学生生活を楽しんでください。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	看護学科長 教授
氏名	木村 孝子 (KIMURA Takako)
学位・最終学歴	看護学修士・商学修士 九州産業大学商学部博士後期課程単位取得
Mail Address	kimura@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	高齢者援助論、認知症援助論、在宅看護論
専門分野	老年看護学
主な研究テーマ	高齢者のQOLの向上、認知症ケア
学会・社会活動	日本老年看護学会、認知症ケア学会、在宅ケア学会
著書・論文・業績等	1『鹿児島の食の奥義を探る』—第二章の3—(編著、2016・9、南方新社) 2. 認知症対応型グループホーム実習における看護学生の学びの実態 —鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.17、43-48 3. 一般病棟看護者を対象とした公開講座「認知症看護」の評価と今後の課題 —鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.17、65-70 4. 老年看護学実習における認知症高齢者理解にセンター方式を活用する意義と課題 —第13回認知症ケア学会 5. 認知症の方の活動にあったケア計画作成のために —第13回認知症ケア学会 6. 公開講座等 県内の医療職・地域住民を対象に認知症講座を開催
学生へのメッセージ	食欲に学んでください。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授
氏名	小湊 博美 (KOMINATO Hiromi)
学位・最終学歴	看護学学士・教育学修士 鹿児島大学大学院教育学研究科
Mail Address	hiromi@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	看護原論, 緩和ケア学
専門分野	基礎看護学 発達心理学
主な研究テーマ	看護学生の職業的アイデンティティ形成に関する研究
学会・社会活動	日本看護研究学会 評議員 日本看護研究学会 九州・沖縄地方会役員 日本看護倫理学会 評議員 鹿児島大学医学部歯学部附属病院治験薬等審査会委員 鹿児島緩和ケア・ネットワーク事務局
著書・論文・業績等	1.看護学生の職業的アイデンティティ形成に関する研究 2.看護におけるアカウントビリティと患者の知る権利 -患者の権利と看護の責任- 3. 看護理論学習が看護学生の看護論構築に及ぼす影響 4. 無菌操作の技術修得における学生の認識の発展 5. 緩和ケア棟における実習体験が学生に及ぼす影響
学生へのメッセージ	学生時代にいろいろな「自分」に出会ってください。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師
氏名	塩満 芳子 (SHIOMITSU Yoshiko)
学位・最終学歴	修士(スポーツ科学) 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科
Mail Address	
主な担当科目	地域看護 地域保健診断 ほか
専門分野	地域看護 災害看護 介護予防
主な研究テーマ	災害時における看護職の役割、多職種との協働
学会・社会活動	
著書・論文・業績等	1) 老人福祉センターA型における看護職と福祉職の緊急対応自己効力感とその関連要因. 応用老年学, 6(1), 39-49, 2012 2) 東日本大震災における被災地復興に向けた保健師の取り組み. インターナショナルナーシングレビュー, 35(3), 173-179, 2012. 3) 比較的ゆとりもてる臨地実習で看護計画の立案に重点を置く. 第3章 [報告]さまざまな“在宅看護”実習の現場. コミュニティケア, 17(13), 55-59, 2015
学生へのメッセージ	臨床現場や地域での様々な経験を少しでも学生のみなさんに還元できるよう頑張りますので共に学びましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授
氏名	下野 義弘 (SHIMONO Yoshihiro)
学位・最終学歴	看護学修士 鹿児島大学大学院保健学研究科
Mail Address	shimono@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	精神看護学、人間関係論
専門分野	精神看護学
主な研究テーマ	精神障害者への看護
学会・社会活動	日本精神保健看護学会、日本精神科看護学会 日本精神科看護協会鹿児島県支部顧問 薩摩川内市障害認定審査会委員
著書・論文・業績等	・堤由美子, 榎元美紀代, 下野義弘, 島元敬志, 精神科における事前情報が看護者の印象形成に及ぼす影響-ネガティブ情報を用いて, 日本精神保健看護学会誌, Vol.11, No.1, pp.19-31 (2002). ・荒井春生, 久松美佐子, 齊藤 康司, 黒岩 京子, 下野 義弘, 精神科病院における緩和ケアの現状と課題, 日本精神科看護学会誌, Vol.56, No.1, pp.31-38 (2013). ・日高大介, 桃木野三ち代, 下野義弘他. 医療観察法病棟における患者を「ゆらす」ことの意義, 日本看護協会誌, Vol.56, No.1, pp.58-61 (2013). ・前園進, 下野義弘. 単科公立精神科病院における敷地内禁煙後の実態調査, 日本精神科看護学術集会, 2012.6月(大阪) ・野間浩史, 下野義弘. 医療観察法下での外出に対するスタッフの思い, 第59回九州精神医療学会, 2013.11月(鹿児島) ・中川路治子, 下野義弘他. 精神科訪問看護利用者の服薬に対する思いの分析, 日本精神科看護学術集会, 2016.6月(岩手) ・下野義弘:看護学生のための精神看護学(7章 症状別看護), 大阪教育出版, 2017.
学生へのメッセージ	何かの縁があって四季折々の草花に囲まれている教育環境抜群の純心女子大学で出会ったことを大切にして、仲間の輪を広げ、お互いを支えあい意義のある学園生活を送ってください。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師
氏名	白水 美保 (SHIRAMIZU Miho)
学位・最終学歴	看護学修士(看護学) 鹿児島大学大学院保健学研究科(保健学専攻・臨床看護学分野)
Mail Address	mmiho@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	助産診断・技術学演習 I 母性看護
専門分野	母性看護学・助産学に関する分野
主な研究テーマ	母親の心理・子育てに関する研究 性同一性障害に関する研究
学会・社会活動	日本看護協会会員 日本看護科学学会会員 鹿児島子どもの虐待問題研究会会員 鹿児島県小児保健学会会員 GID(性同一性障害)学会会員
著書・論文・業績等	① 地域別にみた保護者の子どもへのう歯予防行動に関する意識とう歯発生との関係 ② 医療機関における乳幼児健康診査のあり方に関する研究 —保健所における乳幼児健診との比較— ③ 小児看護学実習前後の子ども観の変化 ④ 看護技術教育の充実に向けた取り組みについて ⑤ 性同一性障害の子どもをもつ母親の体験の意味 —性同一性障害を受容することの意味—
学生へのメッセージ	深く広い視野を持ち、看護を学んでいって欲しいと思います。 母性を学び考えることで、自分自身の健康も同時に考えることができる機会になれば嬉しいです。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授
氏名	園田 麻利子 (SONODA Mariko)
学位・最終学歴	保健学修士・琉球大学大学院保健学研究科
Mail Address	marisono@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	看護診断学 がんを病む人の援助論
専門分野	成人看護学
主な研究テーマ	慢性疾患看護
学会・社会活動	日本看護協会 看護研究学会 日本緩和医療学会 がん看護学会
著書・論文・業績等	1) 看護学生の領域別実習前の演習における学び 2) 看護学生の「生と死」に対する考え方の推移 3) 実習前演習の評価 4) 自己効力感を高める実習前演習のあり方の検討 5) ターミナルケアの授業における学生の死生観に関する検討
学生へのメッセージ	看護を考え実践することはとても楽しいことです。 一緒に看護を語りましょうね。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師
氏名	友澤 加代 (TOMOZAWA Kayo)
学位・最終学歴	修士(心理臨床学) 鹿児島純心女子大学大学院
Mail Address	tomozawa@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	小児保健、学校保健
専門分野	こどもの発達心理学
主な研究テーマ	愛着形成やアタッチメントについて
学会・社会活動	日本心理臨床学会、日本発達心理学会
著書・論文・業績等	<p><b>【論文】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童期・青年期の精神的健康に関する心理臨床学的研究(第16報) A Psychological Study on Mental Health of Child and Adolescent(16) 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要(1), 3-11, 2006-03 共著</li><li>・児童生徒の自殺予防に関する臨床心理学的研究 鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要(2), 85-86, 2007-03</li><li>・選択性緘黙児の遊戯療法 Play Therapy of a child with selective mutism 鹿児島純心女子大学心理臨床相談室紀要(2), 27-34, 2007-03</li></ul> <p><b>【発表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童生徒の友人関係と希死感情に関する臨床心理学的研究 九州学校保健学会, 2007-08 (共同研究)</li></ul>
学生へのメッセージ	<p>全ての大人はこども時代を通過して今を生きています。</p> <p>4年間でこどもの成長・発達について学び、人との関わりについて考えていきます。</p> <p>きっと将来役に立つ学問だと思います。</p>

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師
氏名	永濱 佳織 (NAGAHAMA Kaori)
学位・最終学歴	看護学修士 千葉大学大学院看護学研究科
Mail Address	renne116 @ jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	生活調整援助論(看護編), 健康回復支援実践(基礎), プレゼンテーション技法
専門分野	成人看護学
主な研究テーマ	臨地実習における学生の患者本位の思考形成の過程について
学会・社会活動	日本看護研究学会 鹿児島県看護協会川薩地区教育委員(2013.4.1~2015.3.31)
著書・論文・ 業績等	
学生への メッセージ	看護は奥の深〜い実践の学問だと思います。「自己を知り、他人を知る」 ことの大切さ、一緒に学んで成長し合っていきましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授
氏名	七川 正一 (NANAKAWA Shoichi)
学位・最終学歴	看護学修士・岡山県立大学大学院保健福祉学研究科
Mail Address	nanakawa@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	クリティカルケア, 看護研究法, 生活再構築援助論(病態編) 生活再構築援助論(看護編), 看護探検
専門分野	成人看護学
主な研究テーマ	デジタル動画を用いた救急蘇生法に関する教材の作成と評価 救急蘇生法に関する教育効果の検討
学会・社会活動	日本看護研究学会 日本救急医学会九州地方会
著書・論文・業績等	1) 高速船旅客集団事故対策訓練に負傷者役で参加した学生の学びに関する報告 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 19巻, 37-42, 2015 2) 2011年保健師助産師看護師養成所指定規則が改正に伴う教育課程の概要 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 17巻, 1-9, 2013 3) ACLS 対応のステップアップ学習 4年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 15巻, 95-102, 2011 4) 【症例とチャートでよくわかる呼吸器のフィジカルアセスメント】無気肺を防ぐためのアセスメント 呼吸器ケア 4巻5号, 538-543, 2006 5) 褥瘡発生初期段階における虚血再灌流傷害の関与 日本褥瘡学会誌 7巻1号, 93-98, 2005
学生へのメッセージ	本学の建学の精神に「聖母マリアのように神様にも人にも喜ばれる女性の育成」という一文があります。 4年間の学生生活を通して自ら積極的に学ぶ姿勢を身につけると同時に感性を磨き、将来、健康生活の支援者として社会に貢献なさをことを期待しています。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授
氏名	花井 節子 (Hanai Setsuko)
学位・最終学歴	法学学士 看護学修士 宮崎県立看護大学大学院 看護学研究科修士課程
Mail Address	hanai@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	基礎看護学:援助技術論, 生活援助論, 看護診断学概説 健康教育論
専門分野	基礎看護学:基礎看護技術教育, 演習及び臨地実習指導
主な研究テーマ	看護技術の修得過程や臨地実習における学生の認識の発展をテーマに研究しています。
学会・社会活動	学会:日本看護研究学会会員 看護科学研究学会会員 日本看護教育学会会員 日本看護科学学会会員 社会活動:放送大学鹿児島学習センター 客員教授(学習支援、面接授業等) 鹿児島県看護協会 実習指導者講習会 講師
著書・論文・業績等	修士論文:看護技術の修得過程における看護観の形成 2004.12. 【論文】・自己効力感を高める実習前演習のあり方の検討 共著 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.12 2008.3 ・認定看護師制度に関する調査 共著 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.14 P98~102 2010.3 ・無菌操作の技術修得における学生の認識の発展~個別指導後の記録の内容分析から~共著 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.15 2011 ・実習前演習の評価 共著 // 【学会発表】 ・看護技術の修得過程における看護観の形成 第24回日本看護科学学会学術集会 2004.12.5 ・臨地実習につなぐ実習前演習のあり方の検討~看護過程の理解に対する自己効力感に着目して~第40回日本看護学会「看護教育」2009.8 ・「無菌操作修得過程における指導のあり方について一考察」日本看護研究学会九州・沖縄地方学術集会 2009.11.7 ・緩和ケア病棟の実習体験が学生に及ぼす影響 第16回日本緩和医療学会学術大会 2011.7 ・看護学生の領域別実習前の演習における学び 日本看護学教育学会 第22回学術集会 2012.8.4 5 ・看護系大学1年生の「食生活」の実態と自己の食生活に対する認識日本看護学教育学会 第23回学術集会 2013.8.7 8
学生へのメッセージ	看護基礎教育の学び初めの1,2年生を対象に講義や演習を行い,看護の基本技術の修得をめざします。生活している人間を対象に行う技術であることを常に意識し,行為とその意味,目的とを常に考えながら実践できるようになること,技術の学び方を身につけられるよう意識しながら指導しています。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師
氏名	濱田 伸子 (HAMADA Nobuko)
学位・最終学歴	鹿児島大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻・準学士
Mail Address	
主な担当科目	母子の心理・社会 母性保健概論
専門分野	助産学
主な研究テーマ	助産・教育
学会・社会活動	
著書・論文・業績等	臨床助産師必携「生命と文化を踏まえた支援」
学生へのメッセージ	人間の成長は、その人の前に立つと、自分のできなさや小ささが見えてくるような、信頼しているけど、少し苦手な人の存在があるのかどうかに左右されるという言葉聞いたことがあります。 できれば、学生のみなさんにとって、そういう先輩になりたいものだなと最近思います。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手
氏名	濱田 寿美 (HAMADA Hisami)
学位・最終学歴	鹿児島市立高等看護学校 学位：有しない
Mail Address	h.hisami@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	こども看護実践 こども保健実習
専門分野	小児看護
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
著書・論文・ 業績等	
学生への メッセージ	看護師の経験を活かして、皆さんの実習・演習のサポートをしていきたいと思っています。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手
氏名	福岡 真理 (FUKUOKA Mari)
学位・最終学歴	看護学士・鹿児島純心女子大学看護栄養学部看護学科
Mail Address	marii@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	健康回復支援実践
専門分野	成人看護領域
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
著書・論文・ 業績等	
学生への メッセージ	皆さんが理想とする看護師像に 近づけるようにお手伝いします。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教
氏名	牟田 京子 (MUTA Kyoko)
学位・最終学歴	教育学修士 (鹿児島大学大学院教育学研究科) 筑波大学大学院博士後期課程在籍中 (教育基礎学)
Mail Address	
主な担当科目	看護入門, 診療援助論, 看護科学
専門分野	基礎看護学, 社会教育
主な研究テーマ	
学会・社会活動	日本社会教育学会, 九州教育学会 公共コミュニケーション学会, 生活体験学習学会
著書・論文・業績等	1. 対話を通じた若者の居場所づくりの取り組み 2. 若者が自立・活躍できる社会の実現を目指して 3. 社会教育の「共同学習」論に関する現代的検討 4. 地域の学びの場を創る
学生へのメッセージ	対話をすることは他者理解・自己理解につながります。共に「なぜ? どうして?」を語り合い・学びあい・成長しましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師
氏名	諸永 純子 (MORONAGA Junko)
学位・最終学歴	看護学修士・北里大学大学院看護学研究科
Mail Address	moronaga@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	人間発達論、老年看護実践
専門分野	急性重症患者看護、老年看護
主な研究テーマ	クリティカルケア、せん妄、認知症ケア
学会・社会活動	クリティカルケア学会
著書・論文・業績等	1. 「集中治療室看護師のせん妄ケアの探求 -看護師の葛藤を導く曖昧なせん妄判断と手探りのケア-」: 北里看護学誌,15(1),P80-82,2013
学生へのメッセージ	看護師としての臨床の経験を活かして、より実践に近い学びを学生の皆様に提供したいと考えています。楽しく看護を学んでいきましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	教授
氏名	八田 冷子 (YATSUDA Reiko)
学位・最終学歴	医療福祉ジャーナリズム学 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科修士課程
Mail Address	y.rei@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	公衆衛生看護概論 保健指導技術論 社会保障制度と健康
専門分野	公衆衛生看護学 社会保障制度(介護保険)
主な研究テーマ	地域包括ケアと保健師の役割
学会・社会活動	学 会;日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会 鹿児島県公衆衛生学会、日本統合医療学会 社会活動:鹿児島県認知症総合支援対策促進協議会委員 鹿児島県国民健康保険運営協議会委員 鹿児島県介護予防事業推進支援委員会委員 平成28年度地域保健従事者現任教育推進事業評価検討会委員 平成28年度厚労省老人保健健康増進事業、保険者機能強化中央研修(仮称)プログラム策定に関する調査研究事業委員会委員
著書・論文・業績等	修士論文:「地域包括ケアと保健師の役割～鹿児島をモデルとした現状と展望～」(2016.3) 訪問看護支援システムから地域ネットワークを考える(2011.5:共同研究) 保健師の資質向上に向けた現任教育体制づくりに関する調査研究(2013.5:共同研究) 地域包括ケアの構築における自治体、保健師の役割(2015.1:週刊保健衛生ニュース) みんながつくる「地域包括ケア学習交流会」～「私が住みたい街」のつくり方～報告集「いきいき地域づくり」の手引き 編集 厚生労働大臣表彰(2018.2.13)
学生へのメッセージ	保健師としての経験を積み重ねた今、学ぶことの大事さ、面白さを感じています。このすばらしい学び舎で、自分らしさを見つけ、女性としての人間力を磨きながら看護の心を育み、社会のニーズに応えられる保健師を目指してみませんか。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師
氏名	山崎 智子 (YAMASAKI Tomoko)
学位・最終学歴	看護学修士・ 鹿児島大学大学院修士課程
Mail Address	yamasaki@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	健康論 リハビリテーション看護 看観楽学
専門分野	成人領域
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
著書・論文・ 業績等	
学生への メッセージ	考える楽しさと学ぶ楽しさを一緒に体験しましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師
氏名	山下 美穂 (YAMASHITA Miho)
学位・最終学歴	医科学修士・鹿児島大学医歯学総合研究科
Mail Address	
主な担当科目	母性看護学 助産援助学
専門分野	助産学
主な研究テーマ	助産師教育における母乳育児支援
学会・社会活動	
著書・論文・業績等	1) ベトナム母子保健の一考察,単著,鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.8, 2004 2) 「自分でつかむ」という学習姿勢をはぐくむ講義展開-分娩における援助技術獲得の過程における試み(第1報)-,共著,鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.10, 2006 3) 講義「女性と日本文化」の効果測定する項目の検討,共著,鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.14, 2010 4) 認定看護師制度の関する調査,共著,鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.14, 2010 5) 看護学科学生の海外研修の意義と課題-2012年度海外研修参加学生の学びから-,共著,鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.18,2014
学生へのメッセージ	青年海外協力隊としてベトナムで活動した経験から,異文化理解や異文化看護の大切さについて,学生のみなさんに伝えられたらいいなと思っています。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助教
氏名	山下 里奈 (YAMASHITA Rina)
学位・最終学歴	看護学修士・熊本大学大学院
Mail Address	
主な担当科目	診療援助論、発達援助実践、看護方法論実践
専門分野	基礎看護学
主な研究テーマ	主体的学習に基づく効果的な基礎看護技術教育に関する研究
学会・社会活動	日本看護研究学会会員
著書・論文・業績等	<ul style="list-style-type: none"><li>・緩和ケア棟における実習体験が学生に及ぼす影響(2) 共著 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 vol18 2014.3</li><li>・緩和ケア棟における実習体験が学生に及ぼす影響(2), 第18回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 2013.3月</li></ul>
学生へのメッセージ	基礎看護技術の学内演習や、臨地実習の場面で、学生の皆さんと関わらせていただいています。心と体を動かしながら、共に楽しく看護への学びを深めていきましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科 ※大学院授業担当者
職名	看護栄養学部長 教授
氏名	山本 英次 (YAMAMOTO Eiji)
学位・最終学歴	医学博士 鹿児島大学医学部
Mail Address	
主な担当科目	学部： 人体探検科学（機能）、こども成育論 ほか 大学院： 小児医学特論
専門分野	小児循環器病学 小児科学
主な研究テーマ	看護教育における病態生理の理解度の向上に関する研究
学会・社会活動	所属学会：日本小児科学会 日本小児循環器学会 社会活動：鹿児島市学校心臓検診協力医
著書・論文・業績等	1) 臨地実習における感染防止対策—麻疹・風疹・ムンプス・水痘の抗体保有率 2) ACLS 対応のステップアップ学習～学習プログラムの概要ならびに1年目の報告 3) ACLS 対応のステップアップ学習～2年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告 4) ACLS 対応のステップアップ学習～3年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告 5) ACLS 対応のステップアップ学習～4年目の学習プログラムの概要ならびに成果報告
学生へのメッセージ	病態生理の理解には、解剖生理に対する十分な理解が欠かせない。臨床に繋げながら学習することが大切である。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 看護学科
職名	助手
氏名	脇園 幸恵 (WAKIZONO Yukie)
学位・最終学歴	学士(看護学)・鹿児島純心女子大学 看護栄養学部 看護学科
Mail Address	yuki4050@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	発達援助論実践 看護方法論実践
専門分野	基礎看護学領域
主な研究テーマ	
学会・社会活動	
著書・論文・ 業績等	
学生への メッセージ	看護とはなにかを一緒に楽しく学んでいきましょう

看護栄養学部 健康栄養学科 (五十音順)

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授
氏名	石崎 由美子 (ISHIZAKI Yumiko)
学位・最終学歴	家政学士・日本女子大学家政学部食物学科
Mail Address	
主な担当科目	公衆栄養学、公衆栄養学実習、栄養情報処理、運動と栄養
専門分野	公衆栄養学
主な研究テーマ	鹿児島県の農村地域における健康・食生活状況調査
学会・社会活動	鹿児島農村医学研究会幹事 九州農村医学会評議員 日本栄養改善学会員 NPO 法人 健康運動指導士会 鹿児島県支部副支部長
著書・論文・業績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一農村地域における食品摂取頻度に見る食生活状況」 鹿児島純心女子短期大学 研究紀要第31号 P137～152 2001,3</li> <li>・「乳幼児の食生活に関する母親の意識・行動の変化」 鹿児島純心女子短期大学 研究紀要第31号 P153～166 2001,3</li> </ul>
学生へのメッセージ	日々の食生活、身体活動のあり方が、未来の健康につながっていることを意識したいものです。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	講師
氏名	今村 佳代子 (IMAMURA Kayoko)
学位・最終学歴	家政学修士・日本女子大学大学院家政学研究科食物・栄養学専攻
Mail Address	imamura@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	栄養教育論、栄養カウンセリング論、応用栄養学
専門分野	栄養教育
主な研究テーマ	学童期の親子を対象とした食育の実施 スポーツをする高校生・大学生への栄養教育
学会・社会活動	日本栄養士会、鹿児島県栄養士会、日本栄養改善学会（評議員） 日本スポーツ栄養学会、日本動脈硬化学会、 日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本臨床栄養学会
著書・論文・業績等	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 日常朝食型高脂肪負荷食 Kisei-meal による食後高脂血症の評価と食後 TG-rich リポ蛋白代謝に及ぼす影響. 動脈硬化, 28 : 205-213, 2001: <u>今村佳代子</u>, 丸山千寿子, 都島基夫, 京谷晋吾, 中野里美, 仲森隆子, 丸山太郎</li><li>2. Effects of tomato juice consumption on plasma and lipoprotein carotenoid concentrations and the susceptibility of low density lipoprotein to oxidative modification. Journal of Nutritional Science and Vitaminology, 47 : 213-221, 2001: C Maruyama, <u>K Imamura</u>, S Oshima, M Suzukawa, S Egami, M Tonomoto, N Baba, M Harada, M Ayaori, T Inakuma, T Ishikawa</li><li>3. Assessment of LDL particle size by Triglyceride / HDL-Cholesterol ratio in non-diabetic, healthy subjects without prominent hyperlipidemia. J Atheroscler Thromb, 10 : 186-191, 2003: C Maruyama, <u>K Imamura</u>, T Teramoto</li><li>4. 鹿児島県内小学校における食育の現状. 鹿児島純心女子大看護栄養学部紀要, 13 : 43-51, 2009: <u>今村佳代子</u>, 原口美穂, 迫田真貴子, 瀬戸梢, 瀬上綾, 松木田恵美, 和田みゆき</li><li>5. 母親の食生活に対する行動変容の準備性と児童の朝食摂取との関係. 日本公衆衛生学会誌, 59 : 277-287, 2012: <u>今村佳代子</u>, 瀬上綾, 和田みゆき, 迫田真貴子, 瀬戸梢, 原口美穂, 松木田恵美, 丸山千寿子</li></ol>
学生へのメッセージ	栄養に関する健康問題が注目されている今、栄養教育のできる管理栄養士が求められています。そこで授業では、栄養教育をマネジメントできるように、知識・技術を身につけてもらいます。また卒業研究では、スポーツをする若い世代を対象とした健康教育の実施や、新しい指標を使った栄養評価、食行動に関わる調査を行っています。共に、世の中に貢献できる管理栄養士を目指しましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科 ※大学院授業担当者
職名	教授
氏名	岩田 真一 (IWATA shin-ichi)
学位・最終学歴	医学博士・鹿児島大学医学部
Mail Address	shinichi@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	医療概論 解剖生理学
専門分野	神経内科 薬理学
主な研究テーマ	パーキンソン病
学会・社会活動	日本神経学会専門医 (指導医) 日本薬理学会学術評議員 日本神経精神薬理学会評議員
著書・論文・業績等	Parkinson 病の痛み. 神経内科 66:94-97, 2007. Delayed L-DOPA-induced hyperalgesia. Pharmacol. Biochem. Behav. 85: 643-647, 2006. Administration of haloperidol and biperiden reduces mRNAs related to the ubiquitin-proteasome system in mice. Synapse 56: 175-184, 2005. Antinociceptive mechanism of L-DOPA. Pain 110: 246-249, 2004. Gene expression profiling in the midbrain of striatal 6-hydroxy-dopamine-injected mice. Synapse 51: 279-286, 2004.
学生へのメッセージ	大学は勉強が大切です。成績不良者は再履修とします。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助手
氏名	北原 怜奈 (KITAHARA Rena)
学位・最終学歴	学士(栄養学)・鹿児島純心女子大学 看護栄養学部 健康栄養学科
Mail Address	kitarena@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	調理学実習、応用調理学実習
専門分野	
主な研究テーマ	
学会・社会活動	鹿児島県栄養士会
著書・論文・業績等	
学生へのメッセージ	皆さんの学生生活が実り多いものになるよう精一杯サポートしていきます。遊びと勉強のメリハリをつけて充実した学生生活を送ってください。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授
氏名	木之下 道子 (KINOSHITA Michiko)
学位・最終学歴	純心女子短期大学・準学士
Mail Address	kinoshi@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	臨床栄養管理学、臨床栄養活動論、臨床栄養学実習
専門分野	病態栄養
主な研究テーマ	CKDにおけるたんぱく制限食の治療効果
学会・社会活動	日本静脈経腸栄養学会、日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本調理科学会、鹿児島県栄養士会理事
著書・論文・業績等	<ul style="list-style-type: none"><li>・重症心身障害児(者)における栄養必要量の見直し</li><li>・がん患者における症状別レシピ集</li><li>・鹿児島県における脳血管疾患が多い地域と少ない地域での減塩に対する意識調査</li><li>・地域連携のための栄養管理標準化の検討 第1報</li></ul>
学生へのメッセージ	臨床栄養(病気または再発予防の栄養)に関する事を教えています。身体と栄養(食品・料理)の関係を学ぶと日常生活に生かす事ができ、資格を得ると人に指導することもできます。また、健康であると私達はいろいろな事に挑戦することができます、さらに可能性を広げることができます。皆様一緒に学んでみませんか？

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授, 健康栄養学科長
氏名	坂井 恵子 (SAKAI Keiko)
学位・最終学歴	薬学博士, 鹿児島大学
Mail Address	sakai@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	栄養学, 生化学
専門分野	脂質栄養、生化学、分子生物学
主な研究テーマ	情動機能と栄養、 筋ジストロフィー(タイプ I、2)における RNA CUG 結合たんぱく質の病態に 及ぼすメカニズム
学会・社会活動	学会: American Association of Academy of Sciences The New York Academy of Sciences 日本脂質栄養学会、日本臨床栄養学会、日本アレルギー学会 社会活動: さわやか健康栄養教室講師、調理師資格試験講習会講師 日本脂質栄養学会評議員 薩摩川内市環境審議会委員
著書・論文・ 業績等	1. Huichalaf C., <b>Sakai K.</b> , et al., Expansion of CUG RNA repeats causes stress and inhibition of translation in Myotonic Dystrophy 1 cells. FASEB J., 24:3706-19, 2010 2. <b>Sakai K.</b> , Tiebel O., et al., A neuronal VLDL variant lacking the third complement-type repeat exhibits high capacity binding of apoE containing lipoproteins. Brain Res. 1276:11-21,2009 3. Salisbury E., <b>Sakai K.</b> , et al., Ectopic expression of cyclin D3 corrects differentiation of DM1 myoblasts through specific activation of RNA CUG-binding protein,CUGBP1. Exp.Cell Res.,314:2266,2008 4. <b>坂井恵子</b> 他, 脂質過剰食の自発運動と不安行動における動物性たんぱく質と植物性たんぱく質の比較. 鹿純大紀要, 20. 2016 5. <b>坂井恵子</b> 他, 脂質過剰食の過剰摂取において、エゴマ油は血液のトリアシルグリセロールと総コレステロールレベルをオリーブ油より抑制した. 鹿純大紀要、19:7-13, 2015
学生への メッセージ	学習においても、チャレンジ精神をもって、意欲的に取り組んでください。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助教
氏名	新里 葉子 (SHINSATO Yoko)
学位・最終学歴	博士(農学)・鹿児島大学大学院連合農学研究科
Mail Address	hayashi@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	給食経営管理実習、調理学実験
専門分野	給食経営管理論、調理学
主な研究テーマ	給食経営管理に関する研究
学会・社会活動	日本栄養士会、日本調理科学会、日本栄養・食糧学会 所属
著書・論文・業績等	<p>林葉子、竹田千重乃：給食経営管理実習における食材料費の評価., 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要, Vol.17, 49-58 (2013)</p> <p>林葉子、安藤より子、安楽絵美、北之口陽子、森田由佳、竹田千重乃：給食経営管理実習での実施献立についての検討～実施献立の栄養価計算による塩分計算値と、実施献立における実測塩分量の差について～., 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要, Vol.16, 22-30 (2012)</p> <p>今村佳代子、林葉子、久永まゆみ、興野真由美：管理栄養士による料理教室の実施と学生への教育効果., 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要, Vol.16, 53-60 (2012)</p> <p>Y. Hayashi, S. Nagano, H. Enomoto, C. -P. Li, Y. Sugimoto, H. R. Ibrahim, H. Hatta, C. Takeda, T. Aoki: Improvement of foaming property of egg white protein by phosphorylation through dry-heating in the presence of pyrophosphate., Journal of Food Science, 74 (1), C68-C72 (2009)</p> <p>Y. Hayashi, C. -P. Li, H. Enomoto, H. R. Ibrahim, Y. Sugimoto, T. Aoki: Improvement of functional properties of ovotransferrin by phosphorylation through dry-heating in the presence of pyrophosphate., Asian-Australasian Journal of Animal Sciences, 21 (4), 596-602 (2008)</p>
学生へのメッセージ	<p>4年間の学生生活はとても貴重です。</p> <p>多くのことを学び、たくさんの仲間と有意義な時を過ごしましょう。</p>

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助手
氏名	中尾 礼奈 (NAKAO Rena)
学位・最終学歴	学士(栄養学)・鹿児島純心女子大学
Mail Address	nakao@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	栄養学実験、生化学実験
専門分野	
主な研究テーマ	食事とグリコーゲン代謝の研究
学会・社会活動	日本臨床栄養学会、日本脂質栄養学会、日本栄養士会、鹿児島県栄養士会
著書・論文・業績等	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 坂井恵子、福重琴子、<u>中尾礼奈</u>：脂質過剰食における動物性たんぱく質と植物性たんぱく質がラットの肝臓と血液性状に及ぼす影響 鹿児島純心女子大学紀要 Vol.20 (2016)</li><li>2. 坂井恵子、<u>中尾礼奈</u>、末田渚、脇野真衣、前田さやか：脂質過剰食の過剰摂取において、エゴマ油は血液のトリアシルグリセロールと総コレステロールレベルをオリーブ油より抑制した 鹿児島純心女子大学紀要 Vol.19 07~13 (2015)</li><li>3. 坂井恵子、<u>中尾礼奈</u>、須崎はるか：大豆たんぱく質とオリーブオイルおよびエゴマ油がストレス負荷ラットの攻撃性に及ぼす影響 鹿児島純心女子大学紀要 Vol.16 07-12 (2012)</li></ol>
学生へのメッセージ	4年間の大学生活が有意義なものとなるように、様々なことにチャレンジして過ごしてください。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助手
氏名	中島 朝美 (NAKASHIMA Tomomi)
学位・最終学歴	学士(栄養学) 鹿児島純心女子大学
Mail Address	n.tomomi@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	公衆栄養学実習
専門分野	
主な研究テーマ	
学会・社会活動	日本栄養士会 鹿児島県栄養士会
著書・論文・業績等	
学生へのメッセージ	共に学ぶ仲間と切磋琢磨しあい、4年間の学生生活、有意義な時間を過ごして下さい。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授
氏名	中野 隆之 (NAKANO Takayuki)
学位・最終学歴	医学博士・鹿児島大学大学院農学研究科修士課程
Mail Address	nakano@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	食品学総論, 食品学各論, 食品機能論, 食品加工学, 食品加工学実習, 解剖生理学実験
専門分野	食品機能学, 食品科学, 電気生理学
主な研究テーマ	食品の成分分析と生理機能に関する研究
学会・社会活動	日本栄養・食糧学会, 日本生化学会, 日本農芸化学会 日本食品科学工学会, 日本聴覚医学会
著書・論文・ 業績等	分子栄養学 (建帛社) 食べ物と健康 ―食品学, 食品機能学, 食品加工学― (医歯薬出版株式会社) (2017) ボタンボウフウ葉と桑葉を含む青汁食品摂取による食後血糖値上昇抑制効果検証試験 ―無作為化二重盲検クロスオーバー試験― <u>中野 隆之</u> , 野崎 勉, 田中 郁郎, 木村 昌代, 石原 健夫 (査読有) 薬理と治療 (JPT) Vol.44, No.3 p391-p397 (2016) The development of the new black vinegar and the function <u>T. Nakano</u> , T. Nozaki, K. Ishihara ICoFF 2015 The 6th Inter-national Conference on Food Factors Nov. 22~25, 2015 Coex, Seoul, Republic of Korea In vitro anticancer activity of loquat tea by inducing apoptosis in human leukemia cells Phyu Phyu Khine Zar, Satoshi Yano, Kozue Sakao, Fumio Hashimoto, <u>Takayuki Nakano</u> , Makoto Fujii and De-Xing Hou (査読有) Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 78(10): p1731-p1737 (2014) DEVELOPMENT OF A NONDESTRUCTIVE DETECTOR OF UNSUITABLE CHICKEN EGGS USING LED LIGHTS FOR INFLUENZA VACCINE PRODUCTION K. Kimura, K. Nakano, S. Ohashi, <u>T. Nakano</u>
学生への メッセージ	食品を通してヒトの体の仕組みや機能について深く理解することは大切です。 色々な観点から興味を持って自分の知識や技術の向上に取り組めるよう、アドバイスできればと考えています。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助教
氏名	久永 まゆみ (HISANAGA Mayumi)
学位・最終学歴	人間環境学修士・福岡女子大学大学院人間環境学研究科修了
Mail Address	
主な担当科目	解剖生理学実験、応用栄養学実習 食品加工学実習
専門分野	
主な研究テーマ	スポーツをする若年者の栄養に関する研究
学会・社会活動	日本栄養士会 鹿児島県栄養士会 日本栄養・食糧学会 日本スポーツ栄養学会 日本栄養改善学会
著書・論文・業績等	・管理栄養士による料理教室の実施と学生への教育効果 今村佳代子, 林葉子, 久永まゆみ, 興野真由美 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.16 P53~60 (2012)  (学会発表) ・女子体操部に所属する児童生徒における栄養摂取状況および食意識の現状 久永まゆみ, 今村佳代子: 日本スポーツ栄養学会 第2回大会 (2015) ・男子バスケットボール部に所属する選手と保護者の食意識 久永まゆみ, 今村佳代子: 日本スポーツ栄養学会 第3回大会 (2016)
学生へのメッセージ	4年間は長いようであっという間に過ぎていきます。日々の出合いを大切に、たくさんの方に興味を持って、充実した学生生活を送ってください。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授
氏名	福元 耐子 ( FUKUMOTO Tayuko )
学位・最終学歴	熊本女子短期大学・準学士
Mail Address	fukumoto@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	給食経営管理論、給食経営管理実習、 調理科学、調理学実験、栄養アセスメント
専門分野	給食経営管理実習
主な研究テーマ	・大量調理における生産計画とP D C Aサイクルの動向 ・女子学生の給暇中の食傾向と基礎食品群との関連
学会・社会活動	日本調理科学会 日本栄養士会
著書・論文・ 業績等	・食欲低下の患者に対する栄養管理 ・家庭における食塩摂取量の推定 ・聞き取り調査法と家庭畜尿法の併用による食生活への影響 因子の検討 ・女子学生の一日の食塩摂取量及び食傾向について
学生への メッセージ	社会が求める学生は、専門的な理論・技術だけでなく、厳しい時代の 変化にも柔軟に対応していける人材、自らの力で乗り越えていけるヒト を求めています。正しい基礎学力を習得し、他者との対話が確立され行 動へと流れなくてはなりません。グローバル化、スピード化が押し寄せ 自身を失いそうになりますが、『若い』という価値を謙虚に受け止め、 誰かのため、何かのために素直さを持って貢献していく姿勢を持ち続け てください。 そして、大学生であるという品格を失わないことも大事です。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	准教授
氏名	松元 圭太郎 (MATSUMOTO Keitaro)
学位・最終学歴	博士(農学) ・ 京都大学大学院農学研究科食品工学専攻
Mail Address	kmatsumoto@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	食品衛生学、運動生理学 ほか
専門分野	運動と栄養、食品衛生学
主な研究テーマ	運動と栄養、食品の安全性
学会・社会活動	所属学会：日本栄養・食糧学会、日本体力医学会、 日本栄養改善学会、公衆衛生学会
著書・論文・ 業績等	<ul style="list-style-type: none"><li>・食品の安全性 松元圭太郎 栄養素でわかる食品と健康 WEB 運動テキスト 柴田克己・木戸康博 共編著(培風館), p164-177, 2016.</li><li>・健康科学系女子大学生における特定保健用食品の食用油の利用実態 松元圭太郎、村上太郎、石原健吾、岡村浩嗣、矢口友理、小野智子、藤井久雄、橋場直彦 日本栄養・食糧学会誌 68, 233-241, 2015.</li><li>・自炊とレシピ集に対する栄養系と体育系の一人暮らしの学生の認識 奥村友香、岡村浩嗣、小清水孝子、柳沢香絵、松元圭太郎 日本スポーツ栄養研究誌 8, 11-18, 2015.</li><li>・PCR-制限酵素断片長多型法を用いたウナギ加工食品の原料の魚種判定 角田香澄、松元圭太郎 鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 17, 85-88, 2013.</li><li>・Branched-chain amino acids and arginine supplementation attenuates skeletal muscle proteolysis induced by moderate exercise in young individuals. Matsumoto K, Mizuno M, Mizuno T, Dilling-Hansen B, Lahoz A, Bertelsen V, Munster H, Jordanig H, Hamada K, Doi T. <i>Int J Sports Med</i> 28: 531-538, 2007.</li></ul>
学生への メッセージ	4年間の学生生活は長いようで短いです。自分の夢や目標に向かって充実した日々を送り、専門知識をしっかりと身につけてください。 また、勉強以外の活動にも積極的に取り組み、人間として一回りも二回りも成長してください。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	教授
氏名	森中 房枝 (MORINAKA Fusae)
学位・最終学歴	家政学士・日本女子大学家政学部食物学科卒業
Mail Address	anna@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	調理学, 調理学実習, 純心講座 他
専門分野	調理学
主な研究テーマ	未利用魚の利活用, 食文化,
学会・社会活動	日本栄養士会会員, 日本調理科学会, 日本栄養改善学会, 日本食育学会,
著書・論文・ 業績等	著書： 1. 「海の恵みレシピ集 海洋深層水を使って」(共著 2007 南方新社) 2. 「古閑章編「新薩摩学 12」 鹿児島島の食の奥義を探る」(共著 2016 南方新社) 論文・業績 1. イスズミの食品利用の拡大に向けて (水産工学 Vol. 48 No. 1) 2. 鹿屋市笠之原につたわる高麗餅「シロ」に関する調査研究 (鹿児島純心女子大学紀要第 19 号) 3. 磯焼けを起こす植食性魚類の有効利用への取り組みについて (鹿児島純心女子大学紀要第 19 号) 4. 平成 24~26 年度「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」聞き書き調査報告書 (一般社団法人日本調理科学会) 5. 鹿児島県薩摩川内市下甑島手打地区の郷土料理と食生活 (食生活研究投稿中) 他
学生への メッセージ	台所は実験室とよく言われますが、科学の目線で調理や食品との関わりを探ると新しい発見や疑問などが出てきます。環境の良いこのキャンパスで自然が織り成す神秘にふれる青春のひと時を満喫しましょう。

(平成29年5月1日現在)

所属	看護栄養学部 健康栄養学科
職名	助教
氏名	山下 陽司 (Yamashita Yoji)
学位・最終学歴	文化情報学修士・同志社大学大学院文化情報学研究科
Mail Address	amashita@jundai.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	健康統計学 情報処理
専門分野	統計科学・大規模データ分析
主な研究テーマ	一般構造化成分分析とその拡張について シンボリックデータ解析について
学会・社会活動	日本統計学会・日本計算機統計学会・医学教育学会
著書・論文・業績等	〈発表〉 <i>Fuzzy clusterwise generalized structured component analysis with non-negative constraint</i> , International Conference for JSCS 30th Anniversary in Seattle, 2016. 〈論文〉 日本の医学部医学科における統計学の入門講義の実態調査. 計量生物学 Vol.35 No2 p95-105, 2015.
学生へのメッセージ	4年間の学生生活を通して, コンピュータと統計学に慣れていきましょう. 授業以外のことでも分からないことがありましたら質問を受け付けていますので, 遠慮なく研究室の扉を叩いてください.

(平成29年5月1日現在)

所属	大学院 人間科学研究科
職名	人間科学研究科 特任教授
氏名	久留 一郎 (HISADOME Ichiro)
学位・最終学歴	教育学修士 名古屋大学大学院教育学研究科教育心理学専攻
Mail Address	hisadome@grad.k-junshin.ac.jp
主な担当科目	臨床心理学特論、被害者臨床援助特論、臨床心理査定演習Ⅱなど
専門分野	臨床心理学(臨床心理面接、臨床心理査定など)
主な研究テーマ	トラウマ(PTSD)、被害者支援に関する臨床心理学的研究 投映法(ロールシャッハ・テスト)に関する心理査定的研究
学会・社会活動	学会：日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本ロールシャッハ学会、日本児童・青年精神医学会など。 社会的活動：犯罪被害者支援、危機支援、メンタルヘルス関係、国内・海外大学からの招聘講演(学術交流)など
著書・論文・業績等	著書：「PTSD～ポスト・トラウマティック・カウンセリング～(単著)」、「スクール・トラウマとその支援(訳著)」、「発達心理臨床学(単著)」、「危機への心理支援学(共著)」、「現代のエスプリ～トラウマと心理臨床～(編著)」など。 論文：「子どものトラウマ体験と PTSD」(小児保健研究)、「災害救助と惨事ストレス障害～救援隊のメンタルヘルス～」(催眠と科学)、「災害支援：臨床心理士による包括的支援～精神保健行政との協働はどのようなになるのか～(臨床心理学・第11巻第4号)など。
学生へのメッセージ	多くの人間は現代の「科学と技術」にのみこまれ、自分の「生きる意味」を喪失しつつある。本学の「建学の精神」である「ヒューマニズムに基づく全人教育」は「臨床心理士のめざす人間観、臨床観」に読み替えることができる。「講義」だけでなく、心理臨床実習やスーパーヴィジョンを通して「人間的感性」を共に体験したいものです。